

2020.1【vol.82】

# 水レター「びわ湖・よど川」

独立行政法人水資源機構 関西・吉野川支社淀川本部 発行

水資源機構全体の取り組みや関西管内における情報のほか、琵琶湖・淀川水系の水源地域情報を、水レター「びわ湖・よど川」により、関係機関の皆様にお知らせします。

index

1. 新年のご挨拶	1 p
2. 関西管内の水源地状況と気象	2 p
3. 関西管内の主な出来事	6 p
4. 川上ダム定礎式を開催	7 p
5. 水道業務体験研修に参加して	8 p
6. 正蓮寺川利水施設管理状況報告会を開催	12 p
7. 危機時における相互応援防災訓練を実施	13 p
8. 災害時における応急復旧工事に関する協定書を締結（中津川管理室）	14 p
9. 令和元年度水資源機構技術研究発表会を開催（結果報告）	15 p
10. イベント情報	16 p

# 1. 新年のご挨拶



令和2年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

さて、私ども独立行政法人 水資源機構関西・吉野川支社では、水資源機構の前身である水資源開発公団時代より、淀川水系の水需要に対処するため、高山ダム、一庫ダム、琵琶湖開発事業等 11 事業を完成させ管理を行うとともに、現在も川上ダムの建設を進め、丹生事業ではダム中止に伴う地域整備を実施しています。

川上ダムでは、関係の皆様のご協力のもと事業を進捗させており、昨年9月には堤体コンクリートの初打設を行いました。引き続き安全を最優先、環境にも配慮しつつ工事を進めていく所存です。丹生事業についてはダム中止に伴う追加的事業について、関係機関と連携し鋭意進めているところです。

近年、日本の総人口は減少傾向となり、また節水型の製品の普及もあり、水需要は減少傾向となっています。しかし近年は異常気象が続いており、特に平成29年九州北部豪雨、平成30年7月豪雨、昨年は台風19号の豪雨等により、甚大な洪水被害が発生しています。このような気象状況においては、ダムは計画を超える豪雨に対して高度な防災操作も必要となっています。また気象の変化による渇水の頻発化も心配されます。

今後もダム等の施設に関わる多くの関係者のご協力のもと、既存施設の機能を最大限に発揮していく必要があります。水資源機構は率先して地域のくらしと命を守るため、これまで培ってきた経験を活かし、施設のより良い運用を目指していきたいと考えています。

また、水資源機構が事業を通じて蓄積してきた技術は積極的に社会に還元し、これからも日本の発展に微力ながら貢献していきたいと考えています。

今後とも地域発展と安全な暮らしの実現に向けて努力していく所存です。引き続き関係各位のご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

独立行政法人水資源機構

関西・吉野川支社長 北牧 正之

## 2. 関西管内の水源状況と気象

### (1) 関西管内の水源状況（2020年1月）と今後の見通し

関西管内の各ダム流域における今年1月の水源状況は次のとおりです。

1月31日現在の貯水率は、一庫ダムは、12月上旬まで工事に伴う水位制限を行っていたことから平年の7割程度の貯水率となっています。日吉ダムは、利水補給を行っていたため平年値より低くなっていますがその他の施設は平年値以上の貯水率となっています。1月のダム地点降水量は、平年並み又は平年値以上となっています。

なお、気象庁の降雨予測によると、2月の降水量はほぼ平年並みの見込みです。今後の水源情報に注意してまいります。

(1月31日9:00時点)

施設名	所在地 (予報区)	ダム地点降水量		ダム貯水率	
		(mm)	(平年値)	(%)	(平年値)
高山ダム	京都府山城南部	57	56	90.0	76.4
青蓮寺ダム	三重県伊賀	80	56	97.9	82.5
室生ダム	奈良県北東部	84	58	96.6	79.4
布目ダム	奈良県北西部	68	54	96.7	79.0
比奈知ダム	三重県伊賀	84	51	97.6	87.7
一庫ダム	兵庫県阪神	61	45	38.6	55.2
日吉ダム	京都府南丹・京丹波	51	48	74.6	90.4
琵琶湖	滋賀県全域	112	124	BSL-0.08m	BSL-0.22m

※ダム地点降水量は1月1日～30日までの累計雨量です。

※ダム地点降水量平年値は1月の累計降水量の平年値です。

※ダム貯水率、ダム貯水率平年値は1月31日の値です。

### (2) 関西管内水源情報について

関西管内における各ダムの貯水状況、補給状況等詳細情報は、関西・吉野川支社淀川本部ホームページの水源情報に掲載しておりますのでご覧下さい。

水資源機構関西・吉野川支社淀川本部HPアドレス

<http://www.water.go.jp/kansai/kansai/html/suigen/suigen.html>

(参考) 気象情報 (大阪管区気象台HPより抜粋)

① 近畿地方の天候 (2019年12月)

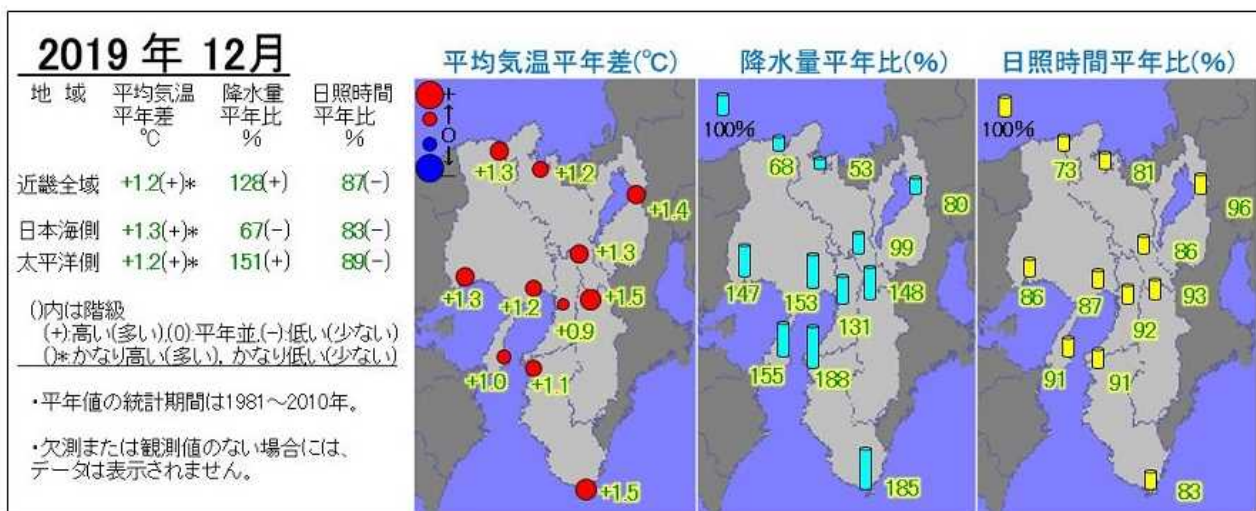
冬型の気圧配置は長続きせず、天気は数日の周期で変わり、気圧の谷や湿った空気の影響を受けやすかったため、日本海側を中心に曇りや雨の日が多くなりました。

上旬：気圧の谷や寒気の影響で、曇りや雨の日が多くなりましたが、前半は、前線や湿った空気の影響で大雨となった所がありました。

中旬：天気は数日の周期で変わり、気圧の谷や湿った空気の影響で、日本海側を中心に曇りや雨の日が多くなりました。

下旬：気圧の谷や湿った空気の影響で、曇りや雨の日が多く、後半は、日本付近を通過した低気圧や前線の影響で、太平洋側を中心に大雨となった所がありました。

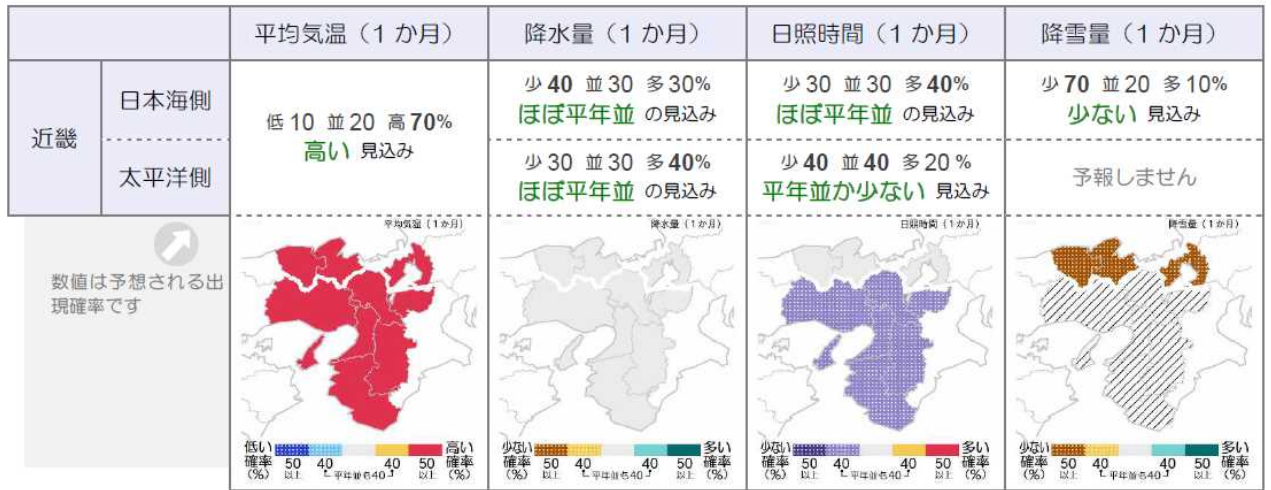
	上旬		中旬		下旬	
	気温	降水量	気温	降水量	気温	降水量
日本海側	平年並み	平年並み	かなり高	少	かなり高	少
太平洋側	低	平年並み	かなり高	平年並み	かなり高	かなり多



② 近畿地方の天候の見通し（大阪管区气象台HPより抜粋）

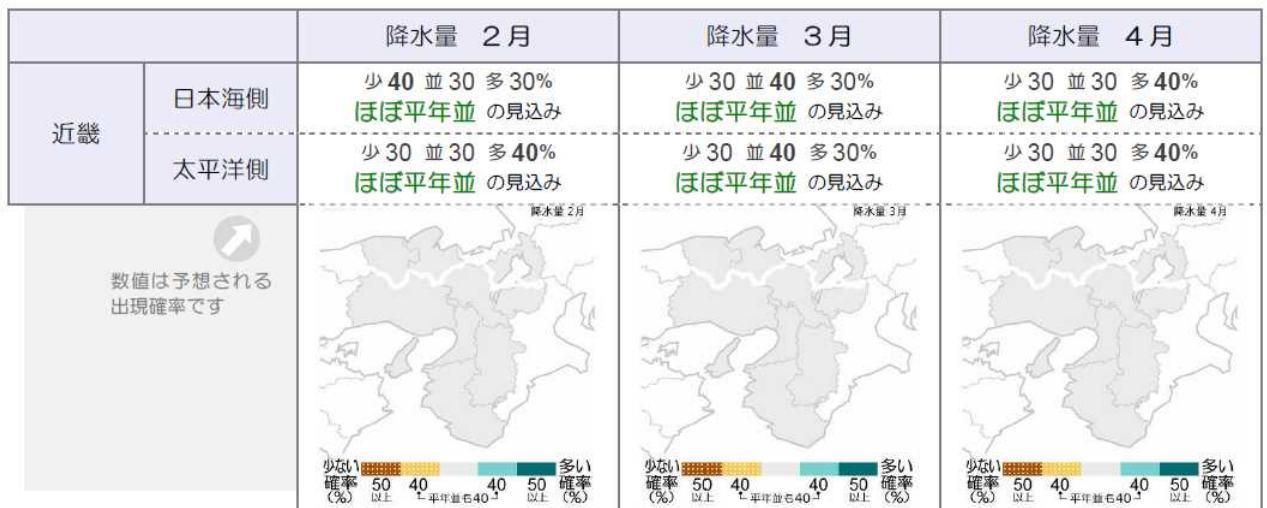
1ヶ月予報（2月1日から2月29日まで）

降水量は、ほぼ平年並みの見込みです。



3ヶ月予報（2月から4月まで）

- 2月 日本海側は、平年に比べ曇りや雨または雪の日が少なく、太平洋側は、平年と同様に晴れの日が多い見込みです。
- 3月 天気は数日の周期で変わり、太平洋側では平年と同様に晴れの日が多い見込みです。
- 4月 天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多い見込みです。



# 流域・水源の雨量・貯水量・ダムからの補給量一覧表

2020年1月31日 9時00現在

ダム名	水位(※2)		貯水量(※1.2)				流量(※2)		補給量(過去3ヶ月:11月~1月)(※3,4,6)						雨量(過去3ヶ月:11月~1月)(※5,6)				
	貯水位 (標高m)	貯水量 (万m3)	貯水率 (%)	平年 貯水量 (万m3)	平年 貯水率 (%)	貯水量 平年比率 (%)	ダム流入 量 (m3/s)	ダム放流 量 (m3/s)	当日9時の 補給量 (m3/s)	累計補給 量(過去3ヶ 月) (万m3)	平年ダム 累計補給 量(過去3ヶ 月) (万m3)	補給量平 年比率 (過去3ヶ月 (%))	R2.1月 補給量(1 日~30日) (万m3)	平年1月 月間補給 量 (万m3)	累計雨量 (過去3ヶ月) (mm)	平年累計 雨量 (過去3ヶ月) (mm)	雨量平年 比率 (過去3ヶ月) (%)	R2.1月 降水量(1 日~30日) (mm)	平年1月 月間雨量 (mm)
高山ダム	133.04	4,430	90.0	3,758	76.4	117.9	13.58	14.72	1.1	144	366	39.3	44	78	152	193	78.7	57	56
青蓮寺ダム	276.55	1,870	97.9	1,576	82.5	118.6	3.50	3.33	0.0	62	130	47.7	16	36	182	185	98.3	80	56
室生ダム	295.03	1,284	96.6	1,056	79.4	121.7	3.41	3.39	0.0	26	63	41.3	3	19	220	199	110.8	84	58
布目ダム	283.50	1,228	96.7	1,003	79.0	122.4	1.67	1.40	0.0	44	145	30.3	11	56	200	186	107.5	68	54
比奈知ダム	300.49	1,493	97.6	1,341	87.7	111.3	2.52	2.38	0.0	40	34	117.6	15	18	188	172	109.5	84	51
一庫ダム	131.28	1,034	38.6	1,479	55.2	69.9	1.06	1.21	0.2	298	196	152.0	82	71	122	175	69.9	61	45
日吉ダム	185.97	2,686	74.6	3,255	90.4	82.5	5.58	4.32	0.0	754	367	205.4	67	70	100	171	58.5	51	48

湖沼名	水位(※2)			雨量(過去3ヶ月:11月~1月)(※5,6)				
	(B.S.L)	平年 水位 (m)	平年値との 差 (m)	累計雨量 (過去3ヶ月) (mm)	平年累計 雨量 (過去3ヶ月) (mm)	雨量平年 比率 (過去3ヶ月) (%)	R2.1月 降水量(1 日~30日) (mm)	平年1月 月間雨量 (mm)
琵琶湖	-0.08	-0.22	0.14	267	350	76.4	112	124

流域名	雨量(過去3ヶ月:11月~1月)(※7,8,9)				
	累計雨量 (過去3ヶ月) (mm)	平年累計 雨量 (過去3ヶ月) (mm)	雨量平年 比率 (過去3ヶ月) (%)	R2.1月 降水量(1 日~30日) (mm)	平年1月 月間雨量 (mm)
枚方上流域	202	244	82.8	86	78
桂川流域	161	217	74.2	78	67
宇治川流域	145	185	78.4	60	53
木津川流域	154	177	87.0	58	51
猪名川流域(※9)	84	171	49.1	18	46

※1 貯水率は、10月16日より非洪水期の利水容量で計算しております。

※2 貯水位(琵琶湖を除く)、貯水量、流量は当日9時のデータです。琵琶湖水位は当日6時の値です。

※3 補給量は当日0時までのダム放流量と流入量の差を累計した値です。

※4 当日9時の補給量は瞬時値として当日9時における放流量と流入量との差で表しております。

※5 雨量は当日0時までの累計値です。

※6 補給量、雨量(琵琶湖除く)の平年累計値は平成11年4月以降(7ダム管理開始)からのデータを使用しております。

琵琶湖雨量の平年累計値は平成4年4月以降からのデータを使用しております。

※7 暫定値であり数値は変動する場合があります

※8 雨量の平年累計値は平成6年からのデータを使用しております。(24年間)

※9 猪名川流域は、ダム下流の上池田地点雨量を使用しております。

(出典:国土交通省水文水質データベース)

### 3. 関西管内の主な出来事

関西管内における前号発行(令和元年11月29日)以降の主な出来事をお知らせします。

- 12月1日(日) : やまぞえ布目ダムマラソン大会が開催(主催:やまぞえ布目ダムマラソン実行委員会)
- 12月2日(月)  
~6日(金) : 水道業務体験研修を受講(受入機関:大阪広域水道企業団)
- 12月4日(水)  
~6日(金) : 水道業務体験研修を受講(受入機関:阪神水道企業団)
- 15日(日) : 川上ダム定礎式を開催
- 17日(火) : 令和元年度気象解説講習会を実施(淀川本部)
- 19日(木) : 令和元年度近畿地方ダム連絡協議会(臨時総会)に出席  
(主催:近畿地方整備局)(淀川本部)
- 20日(金) : 淀川水系流域委員会【地域委員会】に出席(主催:近畿地方整備局)(淀川本部)
- 24日(火) : 淀川水系流域委員会【専門家委員会】に出席(主催:近畿地方整備局)(淀川本部)
- 25日(水) : 関西管内安全協議会を開催(淀川本部)
- 1月15日(水) : 正蓮寺川利水施設管理状況報告会を開催(淀川本部)
- 21日(火) : 既存ダムの洪水調節機能強化に向けた協議の場に出席  
(主催:近畿地方整備局)(淀川本部)
- 30日(木) : 令和元年度淀川本部環境学習会を開催



## 4. 川上ダム定礎式を開催

令和元年12月15日に三重県伊賀市において、川上ダム定礎式を開催しました。定礎式とは、ダムの本格的な築造に際し、移転者の皆様や地元住民の皆様、これまで事業に携わっていただいた関係者の皆様にお集まりいただき、感謝の意を表すとともに、礎石を据えて工事の安全と早期の完成を祈念して執り行うものです。

当日はダム堤体上に作られた式典会場に関係者約300人が集まり、これまでの事業経過を振り返ると共に定礎の儀を執り行い、工事の安全と着実な完成を願いました。

定礎の儀では、施工者及び機構職員が礎石を担いでダム堤体に搬入した後、関係者により「鎮定（ちんてい）の儀」「斎饗（いみごて）の儀」「斎槌（いみづち）の儀」を行い、ダム堤体に礎石がしっかりと埋め込まれました。続いて地元小学生が書いたメモリアルストーンも礎石と並べられ、タワークレーンで空中を運ばれたコンクリートが投入されると、万歳三唱で締められました。

現在、ダム本体の本格的なコンクリート打設が始まっています。徐々に立ち上がっていく川上ダムの状況を今後もお伝えする予定です。



礎石搬入



斎槌（いみづち）の儀



地元小学生と記念撮影



コンクリート投入



## 5. 水道業務体験研修に参加して

水道業務体験研修は、水資源機構の若手職員の育成のため、水資源施設にとどまらず、浄水場等において水道業務を体験し、水道事業の実情を身をもって知ること、利水者である水道事業者の視点を理解し、機構の実施する業務の礎とすることを目的として、平成 18 年から実施しています。

実施に当たっては、大阪広域水道企業団(12月2日～6日)、阪神水道企業団(12月4日～6日)にご協力いただき、両企業団で研修を受講し、浄水場や水質管理センター等の業務を体験するとともに、各施設の役割や効果について、企業団職員の皆様からご講義いただきました。

年末のお忙しいところ、研修生の受け入れにご協力いただきました両企業団の皆様に変更を厚く御礼申し上げます。

ここでは、今回の水道業務体験研修を通して、研修生が学んだことや感じたことについて、ご紹介させていただきます。

＜大阪広域水道企業団で受講した 4 名＞

### ◆川上ダム建設所 経理課 脇本瞳

研修を通じて、安全で良質な水を届けるためには、設備管理や水質管理まで、細かな気遣いが必要であることを改めて実感しました。機器の監視だけの情報に頼らず、毎日水質検査を行い水質異常について多様な視点で確認が行われていることや、設備の更新では多額の費用を必要とするため、日常の維持管理を適切に行い既存設備はできるだけ長く使用していることを聞き、日々の維持管理が重要であるということを再認識することができました。

限られた予算での施設の維持管理、技術の継承、今後の異常気象や地震に備えての技術力向上については機構も企業団と同じような問題を抱えているため、今後も意見交換を行い積極的に交流を図っていくことが重要であると思います。

最後になりますが、お忙しい中、丁寧な対応をしてくださり本当にありがとうございました。

### ◆川上ダム建設所 環境課 赤尾大樹

本研修を通じて、自分たちが管理するダム等から放流される水がどのように、各家庭の蛇口まで運ばれているのか知ることができるとてもいい機会となりました。毎日当たり前のように使う水を作るために、水質管理から機器の点検管理までとても細かな気配りをされていることを再認識しました。「安全で良質な水を安定して安くお届けする」ためには、水道事業を行っている方々との協力が不可欠であると感じました。ダムから放流した水は本当に多くの人に触れることを念頭に置いて、今後の業務に取り組んでいきたいと思っています。

最後に、本研修を実施するにあたりご尽力いただいた皆様におかれましては業務多忙の中、貴重な時間を使ってご対応いただき本当にありがとうございました。

### ◆琵琶湖開発総合管理所 環境課 岩垣瑞樹

今回の研修を通して、機構が管理するダムから放流される水がどのような過程を経て、各家庭に届いているのか実際に目で見ることができ、理解できました。

大阪広域水道企業団の理念と、機構の理念である「安全で良質な水を安定して安くお届けする」には共通する部分が多いと思いますが、その中でも水道事業者の水の品質に対するこだわりを感じました。安定供給の面でも都市圏の経済、生活を支えるために、きめ細やかな運転監視、計画的な施設の維持管理をされていました。

最後になりますが、お忙しい中丁寧な説明、見学対応をありがとうございました。今回の研修で学んだことを日々の業務に活かせるよう頑張ります。

### ◆木津川ダム総合管理所 総務課 犬田嘉宏

この度は、お忙しい中5日間にわたり研修を受け入れていただきありがとうございました。

研修を通して、日頃管理しているダムの水が、どのように蛇口まで届いているかを知ることができました。そして水道の浄水配水システムが多くの職員の方々の工夫や日々の業務の積み重ねで維持されていることも知ることができました。

加えて、時代に求められる大阪府の水道のあり方の変化も学ぶことができました。増え続ける大阪府民の水需要に、立地等の制限のある中、階層系浄水施設の建設などの開発主体であることに加え、老朽化する配水網の更新などの維持管理主体として活躍していることなど業務内容が変化しているのではと感じました。そのようなことから、私たち水資源機構に求められるものも変化してきていると感じます。

今後は、変化に対応できるような職員になることを目指して、研修で感じたことを忘れずに、日々の業務に邁進してまいります。



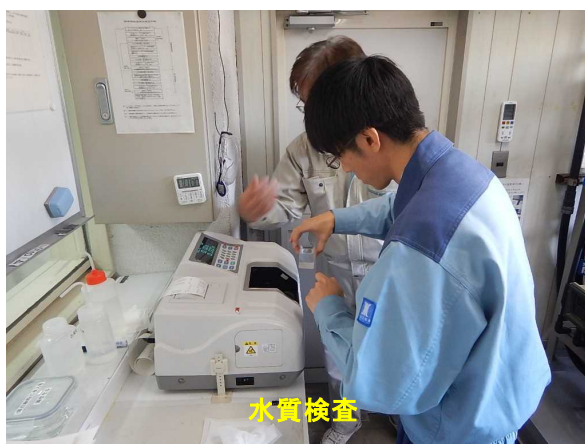
<阪神水道企業団で受講した 3 名>

◆関西・吉野川支社 淀川本部 設備課 櫛田彪佑

本研修を通して、河川を流れる原水がどのような過程を経て、安心して飲むことのできる水道用水へと変わるのかを学ぶことができました。実際に水質検査や点検業務を体験することで、安全な水を安定して供給するためには、水の浄水処理はもちろんのこと、設備や施設の維持管理の重要性を感じました。

研修の中で特に印象に残っていることとして、「良質な製品（水道水）をつくるためには、良質な材料（原水）が欠かせない。」というお話がありました。水資源機構の職員として、「良質な材料」を意識した上で、施設の維持管理等の業務にあたりたいと思います。

最後になりますが年末のお忙しいところ、私たち研修生を受け入れていただきましたこと、感謝申し上げます。今回の研修で学んだこと、感じたことを生かして、今後の業務に取り組んでまいります。



#### ◆関西・吉野川支社 淀川本部 中津川管理室 二村健太

今回の研修において、水資源機構が管理するダム、水路から放流している水が、どのような過程を経て一般の家庭に供給されているのか、また安定的に水道水を供給できるように緻密な管理をされているのかを直接学ぶことができ、有意義なものになりました。

研修中、一番印象に残ったのが、水質試験場にて研修を行った際、そのときのご担当者の方から「良質な製品（水道水）をつくるためには、良質な材料（原水）が欠かせない。」というお話を頂いたことです。これは、水資源機構の経営理念である「安全で良質な水を安定して安くお届けする」に直結するものであると思いました。このことから、我々職員は、利水者様からの要望に応えられるよう、日々の水管理、施設の維持管理等を適切に行っていく必要があると感じました。

最後になりますが、業務多忙の中、私たちのために施設の概要等の説明や施設見学などを実施頂き、大変ありがとうございました。今回の研修で得たことを生かして、今後の業務に取り組んで参りたいと思います。

#### ◆琵琶湖開発総合管理所 管理課 河合美乃里

本研修で阪神水道企業団様が行っておられる水道用水供給事業についてご説明頂き、また現地見学や体験等を通じて、原水が安全な水道水になるまでの過程や水管理等について学ぶことができました。特に水質については、オゾンなどを用いた高度浄水処理を採用し、水の安全性や品質確保のための徹底した管理をされていると感じました。

研修を通して、安全で良質な水を安定して安くお届けするという機構の経営理念や機構職員としての立場を再認識することができ、大変勉強になりました。今回の研修で学んだことを業務に活かしていきたいと思います。

最後になりますが、年末のお忙しい中ご対応頂き、誠にありがとうございました。

## 6. 正蓮寺川利水施設管理状況報告会を開催

令和2年1月15日に正蓮寺川利水事業に参画されている利水者の皆様を対象とした「管理状況報告会」を関西・吉野川支社淀川本部中津川管理室(高見機場)で開催し、5機関 8名の皆様に参加していただきました。

報告会では、正蓮寺川利水事業及び管理状況の概要を説明した後、現地において、具体的にどのような施設管理を行っているのかを視察していただきました。

正蓮寺川利水施設では、例年この時期に高見機場内の水を抜いて、設備の維持清掃を行っており、水がない機場内に入っていただき、維持管理工事の状況やゲートに付着した海棲生物の状況を見ていただきました。

参加者の方からは、「現地で施設を見ながらの説明は、写真を使った説明より状況が分かりやすかった。」や「現地で実際の施設の管理状況を説明してもらうことで管理費の必要性がより良く理解できた。」などのご意見をいただき、正蓮寺川利水事業へのご理解を深めていただけたものと感じております。

今後も、報告会を通じて、機構施設の現状等をご紹介することにより、皆様方に、機構事業へのご理解を深めていただけるよう取り組んで参ります。



# 7. 危機時における相互応援防災訓練を実施

淀川本部管内では、「水資源機構防災業務計画 関西・吉野川支社（吉野川本部を除く）細則」に基づき、電気通信職員を対象に危機時における相互防災応援訓練を毎年実施しています。

相互応援防災訓練は、通常勤務している管理所とは別の管内管理所で、災害や電気通信設備の障害などが発生した場合に、必要に応じて応援活動が可能となるように知識を習得するための訓練です。

12月2日に実施した日吉ダムでの訓練では、ダム概要、電気通信設備概要に加え、ダム管理用制御処理設備（ダムコン）の操作方法、停電発生時の水力発電復旧方法や設備毎の特徴、固有の機能などについて、参加者全員で確認しながら訓練を行いました。

## 【今年度の訓練実績】

11月 7日	布目ダム管理所	(参加人数：4名)
12月 2日	日吉ダム管理所	(参加人数：9名)
12月 4日	室生ダム管理所	(参加人数：8名)
12月 25日	琵琶湖開発総合管理所	(参加人数：6名)
1月 10日	一庫ダム管理所	(参加人数：7名)



## 8. 災害時における応急復旧工事に関する協定書を締結（中津川管理室）

中津川管理室では、有事においても継続して正蓮寺川利水事業目的である環境保全のための流水確保および高潮対策（内水排除）の機能確保を図るため、災害、事故、漏水によって損傷した施設の応急復旧を速やかに行うことを目的とした災害協定を災害時の応急対策に協力して頂ける企業と取り交わしました。

災害協定により、災害協定締結業者から人材、資機材の提供を速やかに受けることが可能となり、その結果、被害施設の早期復旧、継続した事業目的の達成を図ることができます。

特に、昨今の東日本大震災、大阪北部地震、線状降水帯がもたらす長期集中豪雨等、想定以上の災害が発生していることに鑑み、甚大かつ大規模な災害の発生時においても、確実に応急復旧工事を実施できるよう体制をあらかじめ確保しておくことは有効な手段です。

本協定は、土木施設（取水樋門、高見機場、六軒家川水路）について令和元年12月24日に締結しました。

（ゲート設備やポンプ設備などの機械設備については、平成30年10月5日に締結済）

中津川管理室では、今後も経費削減に努めつつ正蓮寺川及び六軒家川への分水を行ってまいります。



取水口と高見機場



高見機場（ポンプ設備）

## 9. 令和元年度水資源機構技術研究発表会を開催（結果報告）

令和元年12月10日に「令和元年度水資源機構技術研究発表会」が開催されました。

今回で53回目の開催となった本発表会には、淀川本部管内技術研究発表会で優秀賞を受賞した4論文と関東、中部、四国、九州から参加した16論文の合計20論文が発表されました。

この中から4論文が理事長賞、1論文が特別賞を受賞し、淀川本部管内からは、一庫ダム管理所 吉川祥太氏の「底部取水設備の点検及び今後の設備運用方針について」が理事長賞を受賞しました。今後とも技術力の向上を目指して、研鑽して参ります。

### 【理事長賞】

論文名	所属	氏名
ケーブル制震工法の検討	総合技術センター	大浜 巧
飛騨川高濁度発生時の対応について	木曾川用水総合管理所	野中 貴博
小石原川ダムにおけるCIMを活用したダム管理の検討	朝倉ダム総合事業所	宮崎 智也
底部取水設備の点検及び今後の設備運用方針について	一庫ダム管理所	吉川 祥太

### 【特別賞】

論文名	所属	氏名
ムカシヤンマ幼虫の移植に向けた産卵・生息に必要な環境に関する実証調査	思川開発建設所	大崎 愛



表彰式の様子（前列左が吉川氏）

今年度、理事長賞を受賞した4論文と特別賞を受賞した1論文は、以下のリンク先からご覧いただけます。

[https://www.water.go.jp/honsya/honsya/torikumi/gijyutu/kenkyuhappyou/r1\\_gijyutu\\_naibu.html](https://www.water.go.jp/honsya/honsya/torikumi/gijyutu/kenkyuhappyou/r1_gijyutu_naibu.html)



# 10. イベント情報

水源地周辺で行われる主なイベントなどを紹介します。



開催時期	行事名・主催	開催場所	概要
令和2年 1月10日(金) ～3月10日(火)  開催中	<b>第69回 長浜盆梅展</b>  公益社団法人長浜観光協会  HP <a href="http://bonbai.jp/">http://bonbai.jp/</a>	滋賀県長浜市港町2-5 (慶雲館内)	歴史・規模ともに「日本一の盆梅展」。明治の和風建築「慶雲館」のお座敷に、ずらりと並んだ盆梅は見ごたえたっぷり。
令和2年 2月2日(日)  申込受付は 終了しています	<b>第6回 南山城村 高山ダム駅伝</b>  南山城村お茶っぴクラブ、南山城村社会体育振興会  HP <a href="http://myvillage-sc.com/takayama/index.html">http://myvillage-sc.com/takayama/index.html</a>	高山ダム周辺 (京都府相楽郡南山城村)	自然に恵まれた京都府唯一の村「南山城村」の高山ダムにて、ダム湖周辺を走ります。小学生・中学生・高校生・一般の部があります。
令和2年 2月16日(日)  申込受付は 終了しています	<b>第35回 月ヶ瀬梅溪早春マラソン大会</b>  月ヶ瀬梅溪早春マラソン大会事務局  HP <a href="http://www.e-marathon.jp/tsukigase/index.php?menuindex=1">http://www.e-marathon.jp/tsukigase/index.php?menuindex=1</a>	高山ダム周辺 (奈良県奈良市月ヶ瀬)	10kmコース・5kmコース・3kmコースがあります。美しい空気と豊かな自然景観に恵まれた月ヶ瀬梅溪を会場に、心のふれあいと交流の輪を広げることを目的としています。
令和2年 2月23日(日)  申込受付は 終了しています	<b>第34回 名張青蓮寺湖駅伝競走大会</b>  名張青蓮寺湖駅伝競走大会事務局  HP <a href="http://www.asint.jp/~budoiki2/svorenji.html">http://www.asint.jp/~budoiki2/svorenji.html</a>	青蓮寺ダム周辺 (三重県名張市)	一般(男子・女子・混成)、中学生((男子・女子・混成)の各部があります。淀川流域の交流及び参加者の体力づくりと相互の融和をはかり、健康で明るい地域社会の形成に努めることを目的としています。
令和2年 3月中旬  ※雨天中止の場合は翌日  (日時未定)	<b>曾爾(そに)高原山焼き</b>  曾爾村観光協会  HP <a href="https://sonimura.com/event/4/">https://sonimura.com/event/4/</a>	奈良県宇陀郡曾爾村太良路(曾爾高原)	秋にはススキで覆い尽くされていた曾爾高原で、草木が芽を吹く前のこの時期に山焼きがおこなわれます。曾爾の春を迎える伝統行事となっています。

国土交通省のダムツーリズムHPにもいろいろな情報が載ってますよ



[http://www.mlit.go.jp/river/dam/dam\\_tourism.html](http://www.mlit.go.jp/river/dam/dam_tourism.html)

今号の水レター「びわ湖・よど川」はいかがでしたでしょうか。

水レター「びわ湖・よど川」に対して、ご要望、ご意見がございましたら、下記アドレスまでご連絡ください。

mailto:kansai\_risuisya@water.go.jp

\*\*\*『vol.83は、3月下旬に発行する予定です。』\*\*\*